

東アジアの舞台芸術に学ぶ



2017年度 摂南大学国際教養セミナー

主催：摂南大学外国語学部

講演

京劇の魅力

瀬戸

宏

摂南大学
外国語学部
教授

文楽の劇場いまむかし

—竹本座から国立文楽劇場まで—

久堀裕朗

大阪市立大学大学院
文学研究科教授

日時

2017年12月17日(日)

13:30~16:30 (受付13:00~)

定員

150名 事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

会場

大阪市立 住まい情報センター 3階ホール

大阪市北区天神橋6-4-20

■地下鉄「天神橋筋六丁目」駅下車 ③番出口より連絡 ■JR環状線「天満」駅から北へ徒歩7分

お問い合わせ先

摂南大学外国語学部事務室「国際教養セミナー」係まで 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
FAX: 072 (838) 6607 E-mail: SETSUNAN.Lbu@joshu.ac.jp TEL: 072 (839) 9195

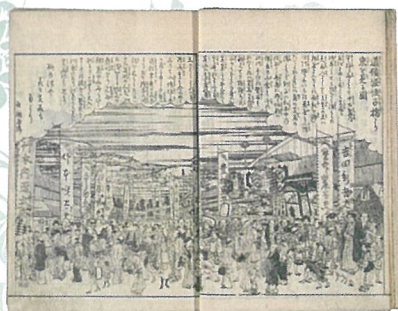
東アジアの 舞台芸術に学ぶ



2017年度 摂南大学国際教養セミナー

舞台は古来より人々の歴史の中に深く根付いてきました。ある時は宗教的な意義をもち、ある時は娯楽の一つとして、私たちの日常・非日常に彩りを添えていました。人々は息をのみ、手をたたきながら舞台に熱い視線を送り、舞台芸術を育み支えてきました。今回のセミナーでは、とくに東アジアに視座を据え、文楽と京劇を取り上げます。文楽はご存知のように近世大坂でうまれた人形浄瑠璃です。国の重要文化財、ユネスコの無形文化遺産にも認定されています。京劇は中国清の時代にうまれ北京や上海で発展しました。華やかな楽曲と派手な演舞で観衆を魅了する歌劇です。文楽と京劇の歴史と魅力をお楽しみください。

竹本座、豊竹座、稲荷社内東芝居、松島文楽座、御霊文楽座、四ッ橋文楽座…大阪で人形浄瑠璃文楽を上演してきた劇場は、現在の国立文楽劇場に至るまでどのように変遷し、その舞台の様子はどのように変化してきたのでしょうか。いまとむかしの文楽の劇場・舞台・公演内容などを比較しながら、現在私たちが観ている文楽のルーツを明らかにしたいと思います。



『劇場楽屋図会』拾遺上巻 (国立国会図書館)

文楽の劇場いまむかし
— 竹本座から国立文楽劇場まで —

久堀裕朗 大阪府立大学文学部教授

講演

京劇の魅力

瀬戸 宏 摂南大学外国語学部教授



京劇は中国を代表する伝統演劇のひとつです。今回は京劇の歴史と特徴を概観し、現代演劇とも対比しつつ、京劇のどこに人を引きつけてやまない魅力があるかを考えます。さらに、京劇以外の中国伝統演劇についても代表的なものを紹介し、京劇をより立体的にとらえてみます。紹介にあたっては映像資料などを用いて、参加された皆さんに京劇の魅力に直接触れていただければと思います。

日時

2017年12月17日(日) 13:30~16:30 (受付13:00~)

定員

150名 事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

会場

大阪市立
住まい情報センター
3階ホール

大阪市北区天神橋6-4-20

右の申込用紙に、必要事項を記入して、郵便かファックスでお申し込みください。下記メールアドレスからでも申込可能です。

申し込み・お問い合わせ先

摂南大学外国語学部事務室 「国際教養セミナー」係 まで
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
FAX: 072 (838) 6607
E-mail: SETSUNAN.Lbu@josho.ac.jp
TEL: 072 (839) 9195

参加申し込み後、特に連絡がない場合は、直接会場にお越し下さい。(参加証は送付しません)



※遅刻されますと他の参加者の迷惑になります。
※当日キャンセルはご遠慮願います。資料の準備がありますので、ご都合で参加できない場合は早めにご連絡ください。

※このセミナーは、午前11時の時点で「暴風警報」が発令されている場合は、中止とさせていただきます。

※お申し込み時にご記入いただいた個人情報は、主催者(摂南大学外国語学部)が保管し、利用状況統計基礎データ及び今後のイベントのお知らせ等に利用させていただく場合があります。

■地下鉄「天神橋筋六丁目」駅下車
③番出口より連絡
■JR環状線「天満」駅から北へ徒歩7分

キリトリ線

申し込み用紙

FAX: 072 (838) 6607

2017年度 摂南大学国際教養セミナー		
ふりがな	年齢	
氏名	歳	
住所	〒 -	
電話	() -	

※ハガキで申し込まれる方は、この用紙をハガキに貼ってご利用ください